

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境厚生分科会	会議場所	第3委員会室
		担当職員	山末
日 時	平成30年8月22日(水曜日)	開 議	午後 3 時 50 分
		閉 議	午後 4 時 52 分
出席委員	◎平本 ○富谷 酒井 小川 齊藤 菱田 小島 馬場		
事務局	片岡事務局長、鈴木議事調査係長、山末		
傍聴者	市民 2名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

<平本委員長>

事務事業評価対象事業の選定及び日程について、事務局から説明を。

[事務局主事説明]

<平本委員長>

前回各委員に事務事業評価の対象事業の抽出をお願いした。今回は対象事業を報告いただき、選定の上、事業項目の決定を行う。各委員から抽出した事業とその理由など報告願う。

<酒井委員>

①健康福祉部P18、家庭相談員等設置経費。平成30年度は家庭相談員が5人に増えた。国の制度を使っているため、一般財源の負担はそれほど増えないまま充実されているが、今後この仕組みがなくなっても必要なものは確保していかなければならないのではないかという観点から選定した。以前、宮川さんとの意見交換でもお聞きしたが、1人で何件処理していて、具体的にどのような業務でどれぐらいの時間がかかっているのかということや、子どもの声が聞けていないという話も改めて聞きたい。また、どのようにつないでいるのか、他との連携はどうか、この人数でどのような状況なのかということを知りたい。②健康福祉部P20、ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費。4事業が書かれているが、必要とされている人の声をどのように拾っているのか。また、高等職業訓練促進給付金の予算がどんどん減らされているように思うが、足立区に視察に行った際に、このような高等職業訓練を受けたくても子どもを預けられるところがないということがあり、できないところをサポートしているという話があった。国からのメニューだけではなく、効果的に事業を進めるために、どのようにして隙間を埋めていくかということを知りたいと思う。安心長寿の福祉助成経費のひとり親家庭に対する分は平成30年度からなくなっている。高齢者分も2分の1補助から4分の1補助になっている。そういったものが削られている中で、ひとり親家庭等生活支援・相談事業を効果的に行うためにはどうすべきなのかということを見ていきたい。

<馬場委員>

①介護保険事業特別会計について、総合事業に移行したが、どのように移行したのか。また、予防給付の関係で、基金から繰り出してやっているということがあるの

で、それについて見ていきたい。②環境市民部P 8、火葬場等経費。平成30年7月豪雨により予定地の一部が土砂崩れで通行止めになった。それらを含めて決算的な審議がしたい。③健康福祉部P 2、暮らしの資金貸付経費。限度額を10万円から5万円に引き下げたことによってどうなのかということを知りたい。

<小川委員>

①健康福祉部P 3、民生委員活動経費。民生委員の業務が多様化し、多忙になっていると思う。市からの補助金を含めて現状を確認したい。②健康福祉部P 20、子ども・子育て支援経費。子育て支援センター事業を含めて、事業の中身と進捗、今後の方向性を見ていきたい。③健康福祉部P 18、家庭相談員等設置経費。

<富谷副委員長>

①健康福祉部P 9、高齢者生活支援経費。平成30年度から削減されているが、ひとり暮らしが増える中でそれはどうなのかということを知りたい。緊急通報装置設置経費や安心長寿の福祉助成金等はニーズが高い事業なので議論してもよいと思う。②健康福祉部P 20、ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費。③病児・病後児保育事業経費。現在は上原医院だけが対象となっているが、拡充してほしいという意見がある中でどうなのか。ニーズが高い事業なので取り上げたい。

<菱田委員>

健康福祉部P 3、社会福祉協議会経費。災害ボランティアセンター事業補助金が10万円だけ出ている。平成30年7月豪雨や、山口県で行方不明になった2歳の子どもをボランティアの人が発見したことなど、ボランティアセンターの活動は非常にウエイトが大きいと思う。事業の構え方を知りたい。

<齊藤委員>

健康福祉部P 20、子ども・子育て支援経費。子育て支援センター事業やファミリー・サポート・センター事業、地域子育て支援拠点事業等、どこでどう区別しているのか。そこに無駄はないのか。一緒にできるものがあれば一緒にすればよいのではないかと思っているのでそこを知りたい。

<馬場委員>

介護保険事業特別会計は一般会計では健康福祉部P 10、介護保険事業特別会計繰出金である。生活援助の問題や、介護職員の不足等について知りたい。

<小島委員>

子ども・子育て支援事業経費。子育て支援センターの現状や今後の方向性を知りたい。

<事務局長>

社会福祉協議会経費の災害ボランティアセンター事業補助金について、毎年災害があるとは限らないので、実際に災害が起きた場合は補正対応をしている。運営経費として10万円がついている。

<馬場委員>

①健康福祉部P 23、公立保育所運営経費。耐震等工事費など、いろいろなところで取り組みを進めているが、別院保育所では石垣が崩れたりしていることを含めて知りたい。②健康福祉部P 25、保健センター維持管理経費。窓口のオープンフロア化について知りたい。

<平本委員長>

3項目程度に絞りたい。子ども・子育て支援事業経費については多くの意見が出ているため抽出してもよいか。

<了>

<平本委員長>

それでは子ども・子育て支援事業経費を選定する。内容も議論しなければならないのか。

<事務局主事>

執行部に対して選定理由も知らせるため、議論いただきたい。

<平本委員長>

子ども・子育て支援事業経費について、補足説明はあるか。

<小川委員>

亀岡市子育て支援センター事業経費について、利用状況や人員が十分なのかということを含め、今後の方向性や課題等を聞きたい。

<事務局長>

子育て支援センター事業は社会福祉協議会に委託している。

<小川委員>

全体の事業に関して、事業の中身や現状などを聞きたい。

<議事調査係長>

事務事業評価の選定に当たっては、一般財源の割合が少ない事業は明確な理由がない限り対象外とすべき事業としている。そのため、明確な理由を挙げて選定いただきたい。

<平本委員長>

具体的に聞きたい内容について意見はあるか。

<齊藤委員>

事業が重複しているのではないかということや、無駄なものは省けるのではないかという論点で、それぞれどのような取り組みをしているのかを聞きたい。

<平本委員長>

この抽出で問題がありそうか。

<議事調査係長>

論点を確認いただき、それを中心に事務事業評価を実施いただければと思う。

<菱田委員>

厚生労働省の補助メニューをうまく使って取り組んでいる。どのように事業の使い分けをしているのかということを確認いただき、重複するところがあるのか、別の方法があるのではないかとチェックできればと思う。

<齊藤委員>

使い道が見えにくいので明確にしなければならない。

<富谷副委員長>

どれも大切な事業だと思う。これを論点にすることにより、人数的に大変な中で取り組んでいるということが明らかになると思う。皆で一度議論することは意義のあることだと思う。

<平本委員長>

子ども・子育て支援事業経費については、事業の明確な区分を含めて詳しく説明を求めていく。その他の項目については意見が割れている。皆の意見を聞きたい。

<齊藤委員>

火葬場等経費に賛同する。

<平本委員長>

私は家庭相談員等設置経費に賛同したいと思う。

<酒井委員>

新火葬場の関係を平成29年度の決算として何を聞きたいのかがわからない。

<馬場委員>

亀岡市は後発の宅地開発を行ったことにより、火葬需要のピークが全国的なものどずれてくる。専門家に任せているから関係ないということではなく、そのことによって亀岡市がどのような到達点に立っているのか。また、審議会では必ずしも広域ですべきという結論は出していない。この年度の執行により何を得たのかということを確認したい。

<酒井委員>

決算ではなく月例常任委員会で確認するのがよいと思う。

<馬場委員>

それでよい。しかし、急がなければならない問題だと思っている。

<平本委員長>

別の機会に委員会で確認していくこととしてよいか。

<了>

<平本委員長>

私は家庭相談員等設置経費を抽出したい。重要性が増している中で現場は疲弊しているのではないかと思う。

<小島委員>

担当課は多忙な中でやりたいことができているのか確認したい。

<菱田委員>

賛成する。

<平本委員長>

2項目目は家庭相談員等設置経費とする。論点はどうか。

<酒井委員>

最初に言ったことと同じだが、以前宮川さんからお聞きしたと重複しても構わないので、具体的にどのような業務をしているのか、1人で何件処理し、どれぐらいの時間を使っているのか、意見交換の中では子どもの声が聞けていないという課題意識を持たれていたが、その中でやりたい業務ができているのか、効果的に事業を進めていくために必要な資源が足りているのか、どのようにつないでいるのか、他からのアクセスをどのように受け入れているのかなどを聞きたい。国の制度により一般財源の負担が少なく拡充できているが、それがなくなっても、必要なものは必要なので、減らされないようにしなければならない。

<平本委員長>

現状と課題を聞いていきたい。

<齊藤委員>

家庭相談員が訪問しなくてもよくなるにはどうすればよいかということを知りたい。各家庭に訪問していると共通点等もあると思う。この経費が必要なくなるような社会にするにはどうすればよいか。

<平本委員長>

このような内容で論点を整理していく。他の項目は意見が割れているがどうか。

<酒井委員>

ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費は2人から提案があった。これを抽出してはどうか。

<平本委員長>

この項目を抽出することについて意見はあるか。

<馬場委員>

それもよいが、高齢者生活支援経費を抽出してはどうかと思う。

<酒井委員>

ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費に賛同いただきたい。自立支援教育訓練や高等職業訓練によってどれぐらい就業されているのかということがよく言われるが、そもそもそこに行きたくても行けない部分があり、なかなかつながっていないという話も聞くので、より効果的に事業を進めていくためにどうすればよいかという話を聞いていきたい。

<馬場委員>

重要な事業だとは思いますが、一般財源が96万5千円であり、財源のほとんどが国庫支出金である。一般財源が多い高齢者生活支援経費を抽出してはどうかと思う。

<酒井委員>

一般財源が少ないと言われたが、少ないことが問題だと思う。国からのメニューでやっているだけでは利用しづらい状況があるのではないかという問題意識がある。足立区に視察に行った時に、不便な部分があり、行きたくても行けない人がいるので、その隙間をサポートしているということだった。一般財源で不便な部分を拡充して利用しやすいようにしていくためにはどうすればよいかということを見ていくのもよいと思う。

<富谷副委員長>

どちらも大事な事業だと思うので抽出願いたい。

<平本委員長>

4項目実施するのは難しいか。

<議事調査係長>

時間的な制限が出てくる可能性はある。

<平本委員長>

それらを踏まえて3項目とするか、4項目とするか。

<齊藤委員>

4項目でよい。

<平本委員長>

子ども・子育て支援経費、ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費、家庭相談員等設置経費、高齢者生活支援経費の計4項目とする。現地視察の意見はあるか。

(意見なし)

<平本委員長>

現地視察は行わないこととする。

3 その他

<平本委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主事>

事前の論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。当日の資料(評価調書)を早めに提出してもらおうよう執行機関と調整しており、その調書の提出を待って論点整理を行ってはどうか。日程案としては、9月14日(金)の議案審査後としてはどうか。次回開催日程を決定願いたい。

<平本委員長>

次回の開催日は9月14日（金）議案審査後としてよいか。
<了>

散会 ～16:52